

別の桑名市職員を逮捕

愛知県警 最低価格漏らした疑い

三重県桑名市発注の工事をめぐる競売入札妨害事件で、愛知県警は26日、2010年の2工事で最低制限価格を漏らしたとして、新たに桑名市大貝須、市建築住宅課課長補佐の森田徹容疑者(52)を競売入札妨害の疑いで逮捕し、発表した。森田容疑者は10年4月から最低制限価格を決める担当を務め、同容疑で逮捕された市職員(56)の後任。

他に逮捕されたのは、水谷元市長の私的運転手の尾崎勝彦(73)＝同市大貝須＝、水谷組社長の水谷和世(66)＝同市西別所＝、平野建材工業社長の平野勉(55)＝同＝、藤井建設社長の藤井富明(68)＝三重県いなべ市藤原町＝の各容疑者。容疑を認めているという。

捜査2課によると、問題の工事は10年5月14日に入札があり、水谷組が落札した市立在良小学校と、藤井建設が落札した大山田東小学校の耐震工事。容疑は、尾崎容疑者が森田容疑者から予定価格に対する最低制限価格の割合を聞き出し、業者側に落札させたという。水谷組は最低制限価格と同じ62337万円で、藤井建設も5005万3500円で落札したという。水谷、平野、藤井の3容疑

者は水谷市長の支援者。尾崎容疑者は「市長選で世話になり力になりたかった」と供述しているという。

◇ 名古屋地検は26日、尾崎容疑者とマルマ工務店社長の伊藤利光容疑者(55)を競売入札妨害の罪で起訴した。また、最低制限価格を漏らしたとして逮捕された市職員(56)は同罪で略式起訴され、罰金100万円の略式命令を受けた。

市長が陳謝 辞職は否定

新たに市職員が逮捕され

たことを受け、桑名市の水谷元市長は26日夜、緊急記者会見を開いた。「続けての職員の逮捕に市民の皆様にご心よりおわび申し上げます」と陳謝。「全容解明に全力で取り組む。今は辞職するつもりはない」と話した。

日経

桑名市係長ら5人逮捕

競売入札妨害容疑 10年実施分

三重県桑名市発注の耐震補強工事を巡る不正入札事件で、愛知県警は26日、2010年に行われた2つの入札で最低制限価格を漏らしたなどとして、同市都市整備部建築住宅課係長、森田徹容疑者(52)ら5人を競売入札妨害容疑で逮捕した。

10年5月に入札された2つの小学校耐震補強工事で、入札前に工事の最低制限価格を落札業者側に漏洩した疑い。水谷市長は26日記者会

と述べた。一方、名古屋地検は同日、09年度発注の工事を巡る競売入札妨害罪で森田容疑者の前任者だった同市職員、笹井保男容疑者(56)を略式起訴、名古屋簡裁は罰金100万円の略式命令を出した。また尾崎容疑者と、工事を落札したマルマ工務店社長、伊藤利光容疑者(55)を同罪で起訴した。

「市長選挙などでお世話になっていたので力にならなかつた」と供述しているという。森田容疑者の逮捕容疑社長、藤井富明(68)両

は、尾崎容疑者を通じて、

10/27
(木)

毎日

桑名・競売入札妨害事件 新たに4人逮捕 計7人に



森田徹容疑者

三重県桑名市の公共事業を巡る競売入札妨害事件で、愛知県警捜査2課は26日、新たに市建築住宅課課長補佐、森田徹容疑者(52)と桑名市大貝須川4人を競売入札妨害容疑で逮捕し、水谷元市長らの私設運転手、尾崎

勝彦容疑者(73)と同11を同容疑で再逮捕した。逮捕者は業者側を含め計7人となった。他に逮捕されたのは▽平野建材工業社長、平野勉(55)▽水谷組社長、水谷和世(66)▽藤井建設社長、藤井富明(68)の3容疑者。容疑は10年5月発注の市立小学校耐震補強工事2件の一般競争入札で、森田容疑者が尾崎容疑者を通じて、平野容疑者

ら3人に最低制限価格を教え、水谷組と藤井建設に落札させたとしている。県警によると、業者側3人はいずれも水谷市長の支援者。市長に近い尾崎容疑者は「市長選などでお世話になっており、力になってやりたかった」と供述しているという。

名古屋地検は26日、09年度工事を巡り逮捕された尾崎容疑者ら2人を競売入札妨害罪で名古屋地裁に起訴。一方、同容疑で逮捕された市職員の笹井保男容疑者(56)は同日、罰金100万円の略式命令が出て即日納付した。水谷市長は26日夜、会見で陳謝。自身の責任については「信頼回復に全力を尽くしたい。辞職するつもりはない」と述べた。【稲垣衆史、岡大介、加藤新市、佐野裕】

桑名市職員 2人目逮捕

入札妨害容疑 市長運転手ら4人も

三重県桑名市発注の公共工事を巡る競売入札妨害事件で、愛知県警は26日、同市都市整備部建築住宅課課長補佐森田徹容疑者(52)(桑名市大貝須)と、建設関係会社の社長3人を競売入札妨害容疑で逮捕、水谷元・同市長の私的運転手の尾崎勝彦容疑者(73)(同)を再逮捕した。両容疑者のほかに逮捕されたのは、平野建材工業社長・平野勉(55)(同市西別所)、水谷組社長・水谷和世(66)(同)、藤井建設社長・藤井富明(68)(三重県いなべ市藤原町坂本)の3容疑者。

発表によると、森田容疑者は昨年4月下旬〜5月上旬、桑名市立在良小学校と大山田東小学校の体育館耐震補強・大規模改造工事の入札で、最低制限価格の割合を尾崎容疑者に教示。尾崎容疑者は、在良小は平野容疑者を經由して水谷

容疑者に、大山田東小は藤井容疑者に伝えて、それぞれ最低制限価格と同額の5940万円と4767万円を落札させた疑い。5人はいずれも容疑を認めている。最低制限価格は森田容疑者が作成していた。森田容疑者は逮捕前、読売新聞の取材に、最低制限価格と落札額が一致している理由について「業者は過去の工事の落札状況を情報公開で把握している。過去の同様の工事を参考に、金額

を蓄積しているからでは」と説明し、漏えいを否定していた。一方、09年5月入札の桑名市立大和小体育館の工事について、名古屋地検は26日、建設会社「マルム工務店」社長伊藤利光(55)、尾崎両容疑者を競売入札妨害罪で名古屋地裁に起訴した。名古屋地検は同日、同市都市整備部付笹井保男容疑者(56)を名古屋簡裁に略式起訴、同簡裁は罰金100万円の略式命令を出し、笹井容疑者は即日納付した。

課長補佐逮捕で 市長「大変遺憾」

桑名市入札妨害

桑名市の競売入札妨害事件で26日、新たに市都市整備部建築住宅課課長補佐森田徹容疑者(52)が逮捕されたことを受け、同市の水谷元市長は同日夜、記者会見を開き、「続けての職員逮捕に大変遺憾。綱紀粛正の徹底を図り、市民の信頼回復に努めていきたい」と述べ、深々と頭を下げた。水谷市長は「まだ詳しい情報が入ってなく、困惑している。事実関係を調査していきたい」と繰り返し述べた。そのうえで、3年連続して職員4人が逮捕され、今回

の事件では水谷市長の運転手を務めた尾崎勝彦容疑者

(73)など市長関係者が絡んでいる問題を指摘する質問が相次いだ。だが、自らの政治責任については「最善を尽くしていきたい。辞任は考えていない」と述べるにとどまった。

桑名入札妨害

別工事も価格漏えい

愛知県警 新たに4容疑者逮捕



森田容疑者の自宅の家宅捜索を終え、押収品を積み込む捜査員＝26日午後5時50分ごろ、三重県桑名市で

三重県桑名市の入札妨害事件で、別の入札でも価格漏えいがあったとして愛知県警は二十一日、競売入札妨害の疑いで市建築住宅課課長補佐森田徹容疑者(五三)同市大員須(三三)同市三業者の社長を逮捕。市長の私的運転手尾崎勝彦容疑者(五三)同市を再逮捕した。ほかに逮捕されたのは平野建材工業社長の

平野勉(五三)同市西別所、水谷組社長の水谷和世(六三)同市、藤井建設社長の藤井富明(六三)三重県いなべ市藤原町の一三容疑者。逮捕容疑では、五人は昨年五月十四日、在良小学校と大山田東小の体育館耐震補強工事の二件の入札で、最低制限価格を事前に聞き出し、この金額で落札、公正な入札を妨害容疑を認めている。平野建材は他二社の下請け業者。三社長は水谷元市長の支援者。尾崎容疑者は市長の私設秘書的存在で、「市長選などで世話になっており力になったかった」と話しているという。桑名市では森田容疑者の前任者の笹井保男(元主幹(五三)略式起訴)が、〇九年の大和

低価格を漏らしたと見られる。尾崎容疑者は森田容疑者から予定価格の84・75%と84・61%が最低価格と聞き、水谷容疑者には平野容疑者を通じ、藤井容疑者には直接伝えた。在良小は水谷組が五千九百四十万円、大山田東小は藤井建設が四千七百六十万円、〇九年の大和

最低制限価格を漏らしたとして逮捕された森田容疑者は市役所で、先に逮捕された笹井元主幹の後任。桑名市では職員と業者の間で、ゆがんだ入札がまん延していた。正常な入札なら、業者が積算努力をして入札価格を競うが、ある業者は(一三)では完全に数字を聞き出す情報戦。

「異常な情報戦」

逮捕業者すべて市長支援 異常だ」と証言する。昨年度の市発注工事(水道を除く)では六割以上が最低価格で落札。今月四日の事件発覚後も三件が最低価格で契約された。業界では、市長に近い業者えいを頼まれたら断れない。

一件の事件で逮捕された業者はすべて市長の支援者。選挙応援の見返りに尾崎容疑者をパイプ役とし、入札で実利を得る構図が見える。関係者によると、業者と市長は海外旅行でもつながりを深める。市長は「私が知っていたら不正を止めた」と話すが、責任を問う声は強まる一方だ。

落札している。名古屋地検は二十六日、競売入札妨害罪で尾崎、伊藤の両容疑者を起訴。笹井元主幹は罰金百万円の略式命令を受けて納付、釈放された。水谷市長は二十六日に会見を開き、価格漏えいの常態化を「個人的倫理観の問題」と釈明。尾崎容疑者には「自分の母が毎月、報酬を払っているだろう」と説明、辞職の考えは否定した。

中日

逮捕前、疑惑否定せず 業者側「計算の結果」説明

森田容疑者 逮捕された森田容疑者「過去の入札が情報公開(一三)開かれているので、ある程度はありうる。だが、ひったくしは難しい」と説明した。自身は価格を漏らしたかどうかは「言えない」の一点張り。記者が「漏えいの事実がない」と説明した。森田容疑者は「最低制限価格での落札を

は最低制限価格を的中させたことを「積算をすれば不思議ではない」、藤井容疑者は「過去のデータを参考に計算したら、たまたま一致した」と主張。平野容疑者は「下請けには関係ないから詮索していない」と関与を否定していた。

「過去の入札が情報公開(一三)開かれているので、ある程度はありうる。だが、ひったくしは難しい」と説明した。自身は価格を漏らしたかどうかは「言えない」の一点張り。記者が「漏えいの事実がない」と説明した。森田容疑者は「最低制限価格での落札を

桑名市職員ら新たに逮捕

入札妨害事件

水谷市長が謝罪

辞職はあらためて否定

桑名市の競争入札妨害事件で、新たに同市都市整備部建築住宅課課長補佐の森田徹容疑者(53)や業者ら四人が二十

六日、愛知県警に連捕された。水谷



森田徹容疑者



市職員の逮捕を受け謝罪する水谷市長(手前左)
＝桑名市役所で

法を使って信頼回復に最善を尽くしたい」と繰り返し述べた。「15面に関連記事」

会見には、水谷市長のほか、山下卓司副市長、水谷義人市長公室長、水谷信昭都市整備部長が出席。冒頭で水谷市長が「続けての職員の逮捕は大変遺憾。市民の皆さんに心よりおわび申し上げる。引き続き綱紀粛正を図り、信頼回復に努める」と述べ、四人で頭を下

水谷市長は、事件について「全く知らなかった」と関与や認識を否定し、原因の乱れもなかった。ごくごく普通の職員だった」と説明。前都市整備部長で当時の上司だった水谷市長公室長は「事件のことは何も知らず、相談もなかった」とした。

(廣瀬秀平)

桑名・入札妨害

業者ら2人を起訴

名地検 競売入札妨害の罪で

桑名市発注の工事をめぐる入札妨害事件で、名古屋地検は26日、競売入札妨害の罪で、マルマ工務店社長伊藤利光容疑者(55)と同事提原IIと運転手尾崎勝彦容疑者(73)と同事大貝須IIを起訴した。【一面参照】

最低制限価格を2人に漏らしたとされる桑名市の笹井保男職員(56)は、名古屋区検が同罪で略式起訴し

た。地検は略式起訴にとどめた理由を「自ら事件について捜査機関に申告した」などとしている。名古屋簡裁は罰金100万円の略式命令を出し、笹井職員は即日納付した。

起訴状によると、2009年5月に桑名市が発注した大和小学校の耐震補強工事の一般競争入札で、笹井職員が同4月下旬ごろ、尾

崎被告を介して伊藤被告に最低制限価格を教え、マルマ工務店に制限価格と同額の4379万2千円で落札させたとされる。